【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成30年6月28日(2018.6.28)

【公開番号】特開2017-212008(P2017-212008A)
【公開日】平成29年11月30日(2017.11.30)
【年通号数】公開・登録公報2017-046
【出願番号】特願2017-156217(P2017-156217)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｔ　7/00　(2017.01)
Ａ６３Ｈ　5/00　(2006.01)
Ｇ０６Ｔ　1/00　(2006.01)
Ａ６１Ｍ　21/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｔ　7/00　６６０Ａ
Ａ６３Ｈ　5/00　Ｃ
Ｇ０６Ｔ　1/00　３４０Ａ
Ａ６１Ｍ　21/02　Ｊ

【手続補正書】
【提出日】平成30年5月7日(2018.5.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
コンピュータに、
会話の参加者の顔画像データに基づき笑顔度データを算出する手順、
前記笑顔度データに基づき笑い声データの再生の可否の判断を行う手順、
前記笑い声データの再生の可否を判断する手順において、前記笑い声データを再生すると判断した場合、前記笑い声データの再生を行う手順、
を実行させるための笑い促進プログラム。
【請求項２】
撮像装置と、
スピーカーと、
前記撮像装置及び前記スピーカーを制御する情報処理装置と、を備える笑い促進装置であって、
前記情報処理装置は、前記撮像装置により取得された会話の参加者の顔画像データに基づき笑顔度データを算出する笑顔度データ算出部と、前記笑顔度データ算出部により算出した笑顔度データに基づき笑い声データの再生の可否の判断を行う笑い声再生可否判断部と、を有し、前記笑い声再生可否判断部が笑い声データを再生すると判断した場合、前記笑い声データを前記スピーカーにより再生することを特徴とする笑い促進装置。